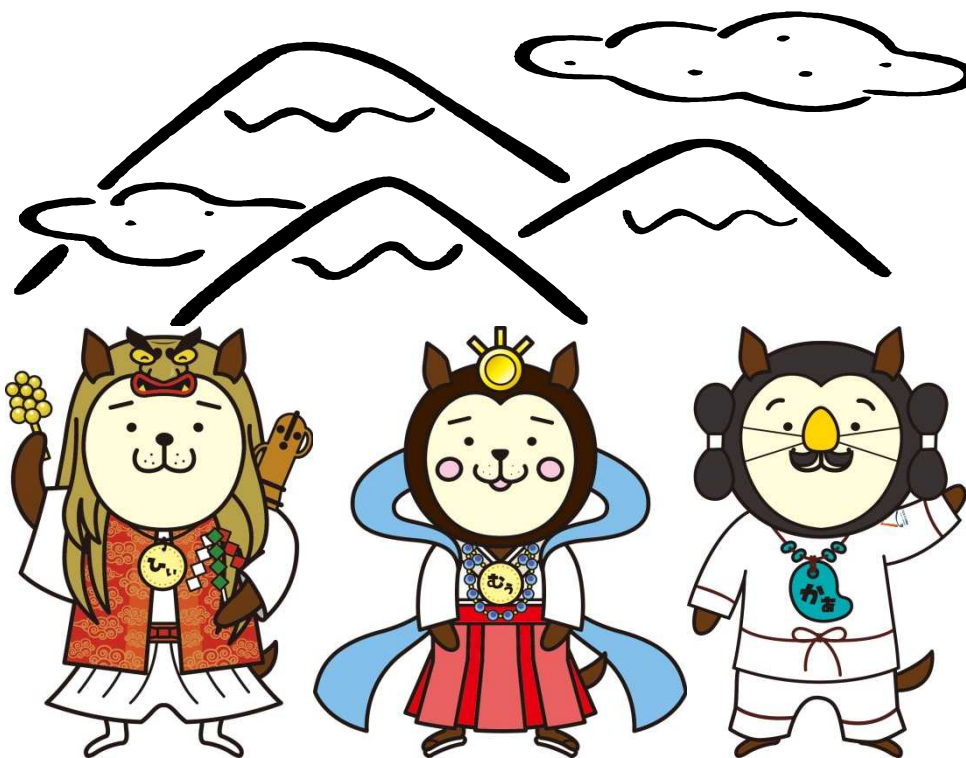


宮崎県キャリア教育実践事例集

小・中・高等学校等 12 年間を見通した 宮崎のキャリア教育

いよいよ実践「ひい、むう、かあ」たち



宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」

平成27年3月

宮崎県教育委員会

はじめに

～ キャリア教育への思い for you (私のためからみなさんのために) ～

今日、キャリア教育の実践は、職場体験活動やインターンシップに限らず、それぞれの学校の諸活動において幅広く行われるようになってきました。また、学習意欲の向上につながるキャリア教育の全体計画が各学校で作成されるなど、キャリア教育の視点で学校の教育活動全体が見直されるようになり、その重要性もますます高まってきております。

本県でも、キャリア教育を第二次宮崎県教育振興基本計画の重点施策に位置付けており、平成25年に「宮崎県キャリア教育ガイドライン」を作成するなど、宮崎県全体のキャリア教育の推進を図っているところです。

キャリア教育は、子どもたちが自分の人生を豊かに生き抜くために、「自分の得意なものを意識させ、それを大切にしながら、大人になったときに社会的にも認知される自分の居場所を見つけ、社会に貢献することができるように、社会性や人間性を育てる」ことであると考えております。

そのためにも、子どもたちには幼少時より多くのことに対して、嫌々ではなく夢中になって挑戦し、自分はどのように生きるのか、何のため生きるのかということを考えてほしいと思います。

また、人生には哀しいこと、楽しいことなどいろいろありますが、どのような状況においても、全てにおいてチャレンジする精神を忘れずに自分自身を奮い立たせながら、人としてのストライクゾーンを広げることが自己実現につながるものと考えています。

人間の存在感とは、自分のみならず、自分が他人のために役に立っていると実感できることであり、「私はみんなのために何ができるか」を常に考え続けること、ここにキャリア教育の原点があるのです。キャリア教育を通じ、自分の将来のゴールを常に意識しながら、社会における自分の居場所を見つけてほしいと思います。

今回、多くの先生方の御尽力により、小・中・高等学校の様々な分野で参考となる本事例集を作成することができました。学校の教育活動のほとんどがキャリア教育そのものであり、様々な場面において、「宮崎県キャリア教育ガイドライン」とともに本冊子を広く活用し、参考にしながら実践していただきたいと期待します。

このような実践により、子どもたちの学習意欲が向上することはもちろん、自分自身に自信を持つようになるとともに、日常の何気ないことに興味・関心を持ち、輝かしい将来のための必要な基盤となる能力や態度を身に付けていくものと考えております。

今後とも、県教育委員会においては、社会、職業への円滑な移行に必要な力の修得や、社会の一員として参画し、貢献する意識の醸成を図るための有意義な施策を策定し、宮崎のキャリア教育を一層推進して参ります。

宮崎県教育委員会教育長
飛 田 洋

目 次

はじめに ～ キャリア教育への思い for you(私のためからみなさんのために) ～

教育委員会あいさつ 宮崎県教育委員会 教育長 飛田 洋

宮崎のキャリア教育について

宮崎におけるキャリア教育のこれまで 1

キャリア教育コーディネータから

- 1 日向市キャリア教育支援センター トータルコーディネータ 水永 正憲 氏 2
- 2 日向市キャリア教育支援センター 地区コーディネータ 富山 隆志 氏 3

第5 1回技能五輪全国大会金メダル受賞者から

- 1 「左官」職種 有限会社岩佐工業 黒木賢太郎 氏 4
- 2 「レストランサービス」職種 株式会社宮崎観光ホテル 小林 慎吾 氏 5

実践事例（小学校の取組）

- 1 高千穂町立高千穂小学校 6
児童の実態や地域の教育資源の分析を踏まえたキャリア教育の構想
- 全体計画・年間指導計画の作成を通して -
- 2 三股町立梶山小学校 12
地域と子どもたちとをつなぐキャリア教育の構想！
- 保育園児、高校生、高齢者との交流体験を通して -
- 3 日南市立吾田東小学校 18
地域の人材や地元企業と連携したキャリア教育の実践
- 明確化と焦点化による体験活動の充実を通して -
- 4 西都市立妻北小学校 24
人とかかわり自己を見つめるキャリア教育の構想
- ふるさとガイドの体験活動を通して -
- 5 宮崎市立学園木花台小学校 30
小学生からできる！ お仕事体験で働く意味を問う
- 様々な職業人への取材活動や白菜の栽培・販売体験を通して -
- 6 都城市立夏尾小学校 36
協働体験の中で自分の役割を自覚するキャリア教育！
- 地域の食材加工や伝統芸能の体験と広報活動を通して -

実践事例（中学校の取組）

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 日南市立細田中学校 | 42 |
| | 職場体験学習を核として三年間の系統的な学びをデザイン！
- 実態分析を踏まえた目標や体験プログラムの設定 - | |
| 2 | 小林市立三松中学校 | 48 |
| | 地域を愛する心を育みながらキャリア発達を促す三松の学び！
- 体験活動と各教科等の学習とのつむぎ - | |
| 3 | 五ヶ瀬町立鞍岡中学校 | 54 |
| | 町の思いを背負った観光特使で地域貢献！
- 修学旅行先でのPR体験を核としたキャリア教育 - | |
| 4 | 美郷町立南郷中学校（美郷南学園） | 60 |
| | 中学生による地域社会づくりへの参画！
- 「子ども議会」に向けた系統的な取組を通して - | |
| 5 | 延岡市立北方学園中学校 | 66 |
| | ふるさとから世界へ 世界からふるさとへ！
- 「北方干支のまちフェスティバル」への参画 - | |
| 6 | 日向市立岩脇中学校（平岩小中学校） | 72 |
| | 三年間を通じた職場体験のスパイラル！
- 全学年において実施する職場体験を通して - | |

実践事例（高等学校の取組）

【全日制普通科】

- | | | |
|-----|---|----|
| 1 | 普通科におけるインターンシップ実践例 | |
| (1) | 宮崎南高校 | 78 |
| | OBを活用したインターンシップ “おじゃまします先輩” | |
| (2) | 妻高校 | 80 |
| | インターンシップ | |
| 2 | 日向地区キャリア教育支援センターと協働した実践例 [日向高校] | 82 |
| | 「生き方」を学ぶ ～日向市キャリア教育支援センターとの連携～ | |
| 3 | 特色ある学校の実践例 | |
| (1) | 宮崎西高校 | 84 |
| | Y U M E 講座 | |
| (2) | 高鍋高校 | |
| | 第31回 地域学習 | 86 |
| | 企業・大学等視察 ～職業や大学について学ぶ～ | 88 |
| 4 | 総合的な学習の時間で取り組む実践例 [小林高校] | 91 |
| | 総合的な時間の学習「大学・学部・学科研究」
～気をつけよう！ 学部・学科研究の落とし穴～ | |

5	教科で行うキャリア教育の実践例 [日南高校]	
(1)	国語科 ~ ビブリオバトル (知的書評合戦) をやってみよう・決勝 ~	94
(2)	地理歴史科	96
(3)	数学科	98
(4)	理科 ~ 運動量の保存 ~	100
(5)	芸術科 ~ 倣書をしよう 蘭亭序を参考に ~	102
(6)	英語科 ~ Travel Agents 外国に日本の観光地を紹介しよう ~	104

【全日制専門学科、総合学科】

1	専門学校におけるインターンシップと特色ある取組実践例	
(1)	都城農業高校 キャリア教育とインターンシップの在り方 ~ 地域の力を活かして ~	106
(2)	延岡商業高校 2 学年で実施する進路決定までの模擬体験 ~ 3 学年に行う校内選考を 2 学年に実施することで進路決定について考える ~	108
(3)	都農高校 セルフプロデュース・インターンシップ	110
2	総合的な学習で取り組む実践例 [延岡工業高校]	112
	労働法規を学習してブラック企業に立ち向かえ ~ 総合的な学習の時間を使って 2 学年全クラスで労働法クイズに挑戦 ~	
3	学科の特色を生かした授業の実践例	
(1)	延岡商業高校 授業で行うキャリア教育 商業科 ビジネスマナー模擬演習 ~ ビジネスの諸活動を円滑に行うために ~	116
(2)	都城農業高校 授業で行うキャリア教育 農業科 食品科学科におけるキャリア教育と食育 (大豆栽培から豆腐作りまで)	118
(3)	都農高校 授業で行うキャリア教育 総合学科 ~ 学校設定科目として設置したインターンシップ (就業体験) から学ぶもの ~	120
4	定時制におけるインターンシップ実践例 [延岡青朋高校]	122
	定時制課程における職場体験	
5	キャリア教育全体計画	124
	宮崎南高校 妻高校 日向高校 宮崎西高校 高鍋高校 小林高校 日南高校 都城農業高校 延岡商業高校 都農高校 延岡工業高校 延岡青朋高校	

宮崎県キャリア教育実践事例集作成委員一覧

宮崎のキャリア教育について

宮崎におけるキャリア教育のこれまで

近年、子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化し、無業者や早期離職者の状況、完全失業率や非正規雇用率の高さなどが社会問題となっています。

本県でも高卒就業者の早期離職と言われる卒業後3年以内の離職が、およそ半数に上るなど厳しい現状があります。

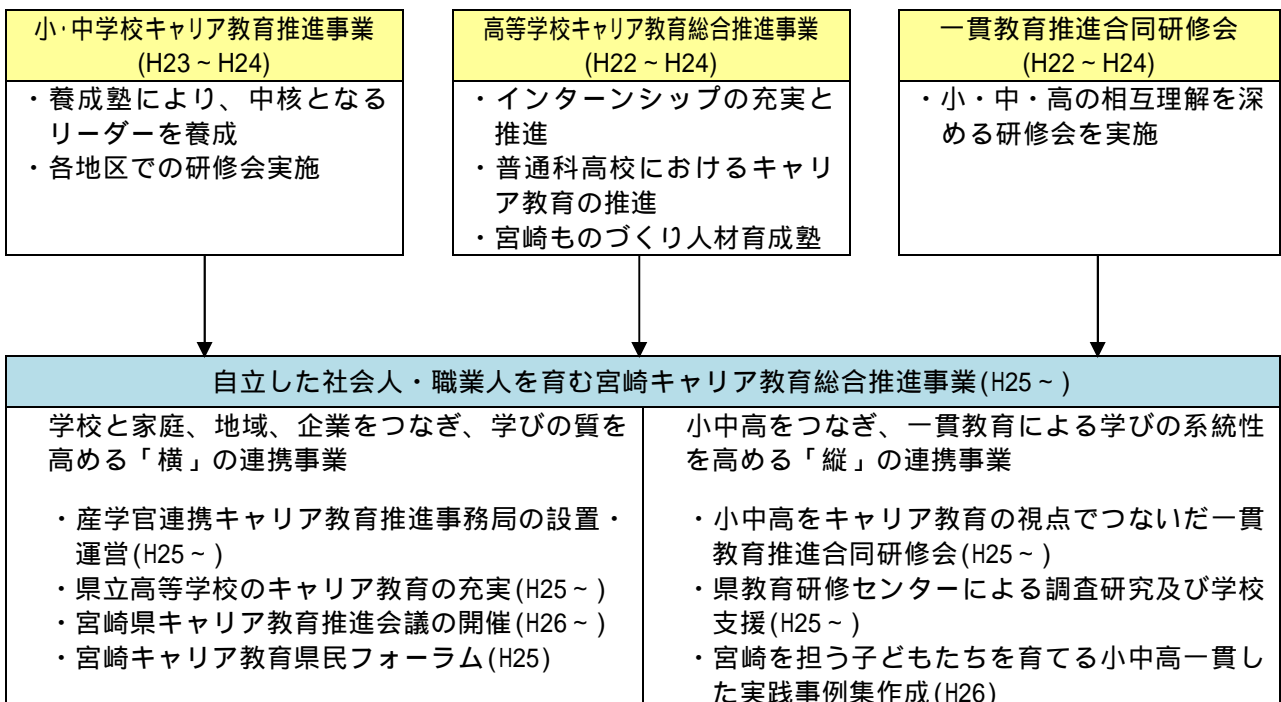
このような中、様々な社会の激しい変化に流されることなく、これから子どもたちが直面するような様々な課題に対して、柔軟に、かつたくましく対応し、自分が人のために役に立っていると実感できる社会人、職業人として、将来自立することができるキャリア教育の推進が求められています。

本県では、宮崎県総合計画『未来みやざき創造プラン』の中で、「人づくり」を施策の大きな柱として、「未来を担う人材が育つ社会」の実現を目指して、様々な施策の推進に取り組んでいます。

キャリア教育についても、第二次宮崎県教育振興基本計画の策定で重点施策に位置付け、平成25年にはそれまで実施していたキャリア教育に係る事業を「自立した社会人・職業人を育む宮崎キャリア教育総合推進事業」として一つにまとめるとともに、「宮崎県キャリア教育ガイドライン」の作成やキャリア教育支援センターを設置することで、学校と家庭、地域、企業をつなぎ、学びの質を高める、宮崎県全体のキャリア教育の推進を図っているところです。

今後も、小・中・高等学校等12年間を見通した、宮崎ならではのキャリア教育を推進してまいります。

<参考>これまでの本県キャリア教育事業



キャリア教育コーディネータから



何のために学ぶのか - これからの時代を生きる君たちへ

日向市キャリア教育支援センター
トータルコーディネータ 水永 正憲

「何のために学ぶのか」を、考えたことはありますか？

成績を上げ、偏差値を上げるためだけではないですよ。それを深く考えるためには、「何のために働くのか」を考えなければ、きっと答えは見つからないと思います。人は必ず働かなくては生きていけません。将来、働く仕事を選ぶ時になってから考えるのでは遅すぎます。今、小中高校生の時にこそ、しっかり考えて、悩み抜いておくことが、とても大事なのです。それでは、何のために働くのですか？

世の中には、たくさんの仕事があります。そして様々な働き方や考え方を持って働いている大人達があります。とても多様なのです。いろんな生き方があるということです。だから意味があるし、面白いし、「この世は生きるに値する」と思えるのです。

お金を稼がなければ生きていけない。そのために一生懸命働くのだ、という人がいます。大切な家族のために身を粉にして働いています。とても尊いことです。

お金を稼ぐためだけではないのだ、という人もいます。何か、人の役に立ったり、社会のためになることをしたいと、懸命に生きています。昨日まで世界になかったものを創りだす、そして社会に少しでも貢献したいと日々研究に没頭している人たちのおかげで私たちの暮らしが便利になっているのです。

自分の好きなこと、得意なことを仕事にしている人もいます。どんなに辛いことや苦しいことがあっても、自分の好きな道なので我慢して乗り越えていくことができるのです。

どんな仕事を選ぼうか決まらなくて、たまたま縁あって仕事に就いた人もいます。楽しいことも辛いことも苦しいことも、たくさんあるけど・・・今を一生懸命に生きています。毎日毎日お客様に喜んでもらうことを一生懸命考えて、工夫を重ねていると、人はその姿に深い感動を感じるものなのです。「ありがとう！」と感謝の言葉をもらうことで、また働く勇氣と元気が生まれてくるのです。

こうしてみますと、働くということは、人のためになる・人の役にたつ・人の助けになることで、人に喜んでもらえるものでなければ成り立たないということが分かります。実はこのことが、もっとも本質的で大事なことなのです。

これから、どうしたら人に喜んでもらえるような仕事や生き方ができるだろうか、と考えればよいのです。そのためには、まだ自分に足りないことや、できないことがあると思います。それを身に付けることが「学ぶ」ということなのです。そのことをこれから学校で勉強すればよいのです。

小・中・高校生の時に、実際に働いているいろんな大人の姿を見たり、話を聞いたりすることはとても大事です。その上で自分はどうするのかと、自分に問いつづけることで、広く深く考えることができるようになります。すぐには結論が出ないかもしれませんが、でも、それでよいのです。一度でもいいからしっかり深く考え抜いておけば、将来、仕事を選ぶ時にきっと生きてきます。



日向の子供たちの未来をつくる

日向市キャリア教育支援センター
地区コーディネータ 富山 隆志

「日向の大人はみな子供たちの先生」を合言葉に、子供たちの未来づくりに参加させて頂いています。この中で「よのなか教室」「国際理解教育」「食育」を担当しており、未来づくりの核となる「よのなか教室話し手」の活動について報告します。

1 話し手について

現在 82 名、100 名を目標に継続的に募集活動を行っています。

特徴としては県北地域で日向との係わりをお持ちの方、幅広い職業職種、女性、若い方々に多くご参加頂いています。

2 定期的な研修会を実施

登録後、一度も御登壇頂いていない方、経験された方のお二人に話の場を作り、その後協議を実施して、これらを 1 時間で終わらせています。話し手の皆様が参加して良かったと思って頂けるように工夫を重ねており、すでに 4 回実施しています。

3 人的ネットワークづくり

交流会、若い話し手の人材育成、ネットワークづくりが大事だと考えています。仲間を増やすことで子供たちの未来づくりの一層の推進と学校、児童・生徒、先生方、保護者の応援団になって頂く狙いもあります。

4 側面的サポート

話し手の皆様が児童・生徒の前に立ち話をするには勇気も必要です。話し手の良さを引き出しながら、プレゼンの技法など話し手の皆様の悩みに寄り添い、様々な講演の方法も提供しながら進めています。

5 話し手の現場で打ち合わせ

学校との事前のすり合わせを、話し手の皆様の職場にお伺いして行うようにしています。職場をつぶさに見て頂くことは先生方の視野を広め、講演の内容について絞り込みが出来るなどメリットがあります。

6 まとめ

日向商工会議所を中核とした「日向の子供たちの未来づくり」は、大人の未来づくりでもあります。激しく変化する社会の中で、個々の生き方あり方が問われており、我々大人が、子供たちに夢や希望を語る未来づくりの一翼を担えればと考えています。

第5 1回技能五輪全国大会金メダル受賞者から



技能五輪から学んだこと

「左官」職種金メダル受賞

有限会社岩佐工業 黒木 賢太郎

第5 1回技能五輪全国大会で金メダルを受賞することができました、黒木賢太郎です。私は祖父、父が左官業をしており、子供の頃から父の仕事によく付いて行って現場で遊んだりしていました。そのため、物心ついた頃から左官職人になりたい、なるのが当たり前かな？とっていました。ちなみに父から左官職人になりなさいと言われた事は一切ありません。祖父からもありません。この意志は自分で決めたことです。

左官職人とは、大工さんと並んで家を建てるには欠かせない存在だと思います。鏝板(こていた)と鏝(こて)を持って壁を塗り仕上げの職人です。形ないところから仕上げまでする作業なので、左官職人以上に技術、勘が必要な仕事はないのではないかと私は思っています。

今の世の中は何もかもが簡単に同じ製品ができてしまったりする時代ですが、左官職人が手掛ける物と同じ物なんて一つもありません。同じ職人が二つの壁を造ってもそれは一つ一つ違う、世界に一つだけの壁になります。

今の時代、資格が大事だと思いますが、技術はもっと大事だと思います。技術は身に付けたら一生物です。自分が身に付けた技術で世界に一つだけの壁、作品を作り、それが何十年も残っていくことは、実に夢のある仕事だと思います。

自分たちの世代もそうですが、最近の若年者の方々は、自分が本気で打ち込める事が多い人が多いように思います。いざ就職するにしても、自分が何をしたいのか、何をしたいのか分からなく、就職先が決まらない人も少なくはないと思います。それはなぜなのでしょう？ 私の勝手な意見ですが、それは普段何気ない時でも興味を持とうとしないからではないでしょうか。人は興味を持たなくなれば新鮮味を味わえなくなるも同然で、子供の頃からそうだと、大人になっていくにつれてさらに新鮮味がなくなると思います。そのため思考能力が大事だと思います。

私は、技能五輪に2回出場させていただきました。1回目はただ言われるがままに練習していたような気がします。結果、入賞もできませんでした。2回目は、新潟に合宿に行き、宮崎に帰って自分なりに考えて日々練習に励みました。毎日いろんな視点から考えると、これまでとは違い、同じ練習でも新鮮味がでて毎日集中できました。その成果が技能五輪で出せたのだと思います。

技能五輪が終わり仕事に戻っても、いろんな視点から考えていけば、仕事が今まで以上に楽しくなった気がします。思考能力を向上させるには、人それぞれで工夫をしたほうがよいと思います。

最後に、このような結果が出せたのは、私の周りの環境が良かったからだと思います。社長、会社の先輩方、指導にあたってくれた先生、家族、皆がフォローしてくれて、今の自分があります。環境は大事です。周りの人に感謝しながら、日々新しい自分を見つけられる様にこれからも一緒に頑張りましょう。



チャレンジするという事

「レストランサービス」職種金メダル受賞
株式会社宮崎観光ホテル 小林 慎吾

私は、宮崎観光ホテルに入社して、1年目はフロントのページボーイとして勤務しました。主に、御宿泊のお客様をお部屋までご案内する事や、館内施設のご案内をする仕事で、ここで接客の基礎を学びました。その後、レストラン「はな花」へ配属になり6年目を迎えております。

私が勤務する「はな花」は、結婚式やビアガーデン、パーティー等、お客様のニーズに合わせた空間やお料理を提供しており、カジュアルな雰囲気のレストランです。

レストランで経験を積んで行くうちに、レストランサービスの楽しさを知る事が出来ましたが、その反面、難しさと奥深さも感じました。ジャンルは幅広く、フレンチ・イタリアン・中華・和食・バイキング・バーがあり、それぞれにサービスのスタイルが異なる為、高い技術と知識が求められます。

そんな折、技能五輪全国大会レストランサービス部門への出場の話があり、多くの方々の協力を得て、チャレンジする機会を頂きました。以前、同大会には、フレンチレストランに勤務している同僚が出演して銅賞を受賞し、大きな刺激を受けていました。その事もあり、現在の自分がどこまで通用するのか試してみたい気持ちが大きくなり、出場資格の年齢が最後の歳という事もあって、チャレンジを決意しました。

技能五輪全国大会とは、41種目の競技に47都道府県1,100名以上の選手が参加し、23歳以下の青年技能者の技能レベルを競う大会で、レストランサービス部門においては、フレンチサービスが課題とされ、普段のサービスとは大きく異なるものです。

大会へ向けた練習は業務の妨げにならないように、休日や休憩時間を利用しました。練習の中では、今まで聞いた事もない食材や経験した事もないサービスがあり、難易度の高い技術と知識が求められ、何度も投げ出したい気持ちになりました。しかし、その度に多くの方々の支えがあり「絶対に優勝して日本一になる」という強い気持ちを持って、当日を迎える事が出来ました。

大会では、幾つも小さなミスをしてしまい、焦りもありましたが、「楽しくやろう」と、気持ちを切り替える事で、普段通りの自然体で自分らしいサービスをする事が出来ました。

その結果、同大会において、宮崎県初となる金賞と厚生労働大臣賞を受賞し、レストランサービス部門において日本一になる事が出来ました。

今回のチャレンジで得たものは、自らの成長と自信です。そして新たな目標も見つかりました。日本だけでなく「世界で活躍できるサービスのプロフェッショナルになる」事です。高い目標を掲げましたが、目標に向かってこれからもチャレンジし続けます。

何事も、結果が全てではなく、目標に向かって全力を尽くす事で、その過程において成長と自信を得る事が出来るのです。例え結果が出なくても、失敗しても良いのです。大切なのは、目標を持って“チャレンジするという事”です。